INTERVIEW 米田和弘（監督）

――本作に携わることが決定したときのお気持をお聞かせください。

どえらい作品を受けてしまったなと。

――米田監督が思う「アニメ『鬼灯の冷徹』の魅力」を教えて頂けますでしょうか。

作品を通して地獄の勉強ができるのが楽しいのと、小さい頃祖父母から聞いていた昔話なんかを思い出しながらして、懐かしい気持ちになれたりするところです。

――本作を通して、米田監督が挑戦されたいことを教えてください。

とり立てて、挑戦することはございません。第壱期の出来の良さをただただ落としたくないです。それが「鬼灯の冷徹」ファンの皆さんの喜びにつながると思いますので。

――一押しのキャラクターとその理由を教えてください。

シロ。こんな可愛い犬を飼いたい。モフモフをすりすりしたい。

――今後特に注目してほしいポイントを教えてください！

ひみつです。

――最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします！

前作のクオリティーを落とさない様、粉骨砕身、愛情を注いで作品に携わりたいと思っています。

INTERVIEW 後藤みどり（脚本）

――ついに！鬼灯の冷徹、第弐期の制作が決定しましたが、第弐期が決定して一番うれしかったことは何ですか。

第壱期では入れられなかったお話しをアニメに出来る！につきます。実は第壱期が終了した直後に、どうするか分からないけれど、とにかく続きが見たい一心で個人的に第弐期の構成案を作っていたので、第弐期のお話しを頂いたときには、既にざっくりとした構成案が手元にありましたが何というか、一度映像で見てしまうと、あのお話もこのお話も、声と映像と音楽つきで、とにかくみんなが動いて喋ってるところが見たいんじゃ！！となってしまうスタッフというよりは一ファンとしての心理と申しますか。ですので第弐期として、色々なお話をアニメ化出来ることが、とにかく嬉しいです。

――後藤さんが思う「アニメ『鬼灯の冷徹』の魅力を教えて頂けますでしょうか。

深まりゆく地獄の教養！シリアルを書いていて気づくのですが、原作のコマの端々にさりげなく散りばめられた、地獄や拷問にまつわる教養の数々。例えば、あるお話で、鬼灯がさりげなく持っている和書の題名がするどい！はじめ何のことか分からなかったのですが、調べたところ江戸時代に駿府町奉行が考案した拷問の一種でしてこういった、現世では知る由もなかった地獄のあれやこれやを、鬼灯様に教えてもらえるところが最大の魅力かと思います。

――「鬼灯の冷徹」の脚本を制作する上で、ここは特に気を付けている！！という部分を教えてください。

動物の耳、鼻、尻尾が表す心の機微！でしょうか。江口先生のこだわりもありますので、ここは慎重に、きっちりやらねばと肝に銘じています。

――一押しのキャラクターとその理由を教えてください。

第壱期のときから変わらず、苏子ちゃん一択！

「たぬき……　おのれたぬき……」のたった二言、たった数秒の中で可愛さから狂気が芽生えていくさまが面白くてまた、仕事に邁進し、日々の鍛錬を怠らない、ある種の仕事人としての姿勢を尊敬しています。私も会社員として、かくありたいやいやあらねばー！と思いましたが、鬼灯様相手にトレーニングとか無理です。絶対無理。

――今後特に注目してほしいポイントを教えてください！

エキセントリック杏忠義侠姿な童子ちゃんがカワイイ！

――最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします！

現世の視察も行われますので、ご期待下さい！

2017年10月より放送開始!!

©江口夏実・講談社／鬼灯の冷徹製作委員会　©江口夏実・講談社／鬼灯の冷徹OAD製作委員会

http://www.hozukino-reitetsu.com　@hozuki_anime／#鬼灯の冷徹

KING RECORDS